

# つれしつ入式〜東川中学校の木製学習机、椅子が新登場

町内の幼児センター、学校で新入生の元気な声が響き渡りました。

4月6日、東川小など町内4小学校、東川中学校で入学式があり、小学校71人、中学校77人が新たな学校生活をスタートしました。

東川小学校(飯森修校長、児童数361人)では昨年より9人少ない55人の新入生を迎えました。

飯森校長は「今日から皆さんは東川小学校の1年生です。みんなでそろって食べる給食はともおいしいうえ、車に気をつけて元気に通ってください」と歓迎しました。

新入生のうち、幼児センターを卒園して入学した児童は、卒園記念として残してきた「ももんが森の大きな木」の名前プレートを、小学校卒業時に記

念として受け取ることができるようになりました。6年後にはそれぞれ成長の記憶と足跡を確かめてもらうことができることになっています。

◇

東川中学校(森雅則校長、生徒数227人)には73人が入学しました。4月から新しく町内で生産した木の学習机と椅子が入り、校舎内は真新しい木の家具のすがすがしい匂いが満ちていました。

真新しい席に座った生徒たちは、新鮮な気持ちもひとしおのよう。「座っていて気持ちいい」「すごくいい」と座り心地も良いようです。

新入生は体育館のしみひとつない真新しい椅子に初めて腰掛けて晴れの入学式を迎えました。



幼児センター入園式



東川小入学式



中学校入学式

森校長は「中学生として大人への階段に一步踏み出した皆さんが座っている椅子は、まだ新しい椅子です。木の持つぬくもりとともに3年間心を込めて大切に使用してほしい」と話しました。学習机と椅子は、東海大学旭川キャンパスの中尾紀行准教授(大学院芸術工学研究科)がデザイン、基本設計、構造強度試験などを担当し、町内の家具木工会社(株)アリー・タイムスアルファ(菊池晋社長)、(株)インテリアナス(水谷松治社長)の2社がそれぞれ、椅子を分担して製造しました。

が大事に使うという気持ちがあればどんなに強く作っても大丈夫です。大事に使ってください」と作り手の思いを話しました。椅子を担当したインテリアナスの下里修平さん(29)は「大人になってもずっと使い続けてもらえるように、丈夫に作ってあります。しっかりメンテナンスすればつやも出てくるし風合いも出てくる。道具には、デザインする人、作っている人がいる。いろいろな思いを込めて作っているの、思いやりを持って使ってください」と職人の思いを伝えました。

◇

4月8日、東川町幼児センター(伊藤和代園長、243人)には60人の新しいお友達が入園しました。待ち焦がれていた初登園です。お父さん、お母さんと一緒に手をつないで足取りも軽やかに「ウキウキ、ワクワク」。伊藤園長は「一緒にいっぱい遊びましょう」と歓迎しました。

年々3歳児以下の乳幼児の入園が増えていきます。今年も零歳児3人、1歳児4人、2歳児7人、3歳児31人がお友だちに新しく加わり、センター開園以来最高の在園者数になりました。

# 東川文化賞受賞者三原さん、三原さん、三原さん

町教育委員会(松岡洋信教育委員長)は21年度東川文化賞に日本画の久保詠美子さん、油彩画の三原真琴さん、スポーツ賞に花本信幸さんの3人を選考し、3月30日、農村環境改善センターで表彰式を行いました。



受賞した久保さん、三原さん、花本さん(右から)＝農村環境改善センターで

久保さんは、日本画家、故小浜亀角氏(旭川、院展会友)に師事して仏画、日本画を描き始めました。純生展に連続入選、道展13回入選など、道内美術展で数多くの作品が連続入選。野菜をテーマにした作風に独自の境地を開きました。

純生美術会員、東川町文化奨励賞受賞(平成6年)。三原さんは、趣味の油彩画を独学で描き始め、新ロマン派展で入選(平成16年)、道展でも昨年まで5回入選するなど、主に風景を主にした作風で創作活動を続けています。

町民総合文化祭などに積極的に新作を発表しています。新ロマン派会員。花本さんは、家業の農業が閑散期になる冬期間、キャンモア・スキービル

# 竹内智香選手(バンクーバー五輪代表)が帰郷

4月16日、カナダ・バンクーバー五輪のスノーボード競技日本代表として出場した本町にゆかりの竹内智香選手(26)が帰郷し、役場に帰国あいさつに訪れました。日本人ただ一人のアルペン競技女子選手として代表出場しました。



直前のW杯大会の成果から、メダル獲得を期待されましたが、雨天の中の決勝レースという悪条件に足元をすくわれ、残念な結果に終わりましたが、松岡市郎町長は「悪条件の中をよく戦いました」とねぎらいました。

直前のW杯大会の成果から、メダル獲得を期待されましたが、雨天の中の決勝レースという悪条件に足元をすくわれ、残念な結果に終わりましたが、松岡市郎町長は「悪条件の中をよく戦いました」とねぎらいました。

バンクーバー五輪の額入り公式ポスター、公式ノベルティグッズの陶製カウベルを持参してくれました。父親の隆治さんと一緒に来庁し、「4年後のソチ五輪出場まで現役で頑張りたいので、またスイスで練習します」と今回は実家で短い休養を取るための帰郷のようです。

# 無事故願う春の交通安全

交通安全運動スタートに先立って4月5日、町交通安全協会(藤田裕三会長)が東川神社前の交通安全の碑前で、春の交通安全祈願祭を行いました。

町交通安全指導員、東川ライオンズクラブ会員、町内各種団体、事業所などから約80人が出席しました。無事故祈願に続いて、道



ドライバーに安全運転呼びかけ(交通安全の碑前)



自転車の安全な乗り方指導(第一小体育館)

道旭川旭岳温泉線の東川神社前で黄色い旗運動を展開。道行くドライバーに清涼飲料を配って安全運転を呼びかけました。

春の交通安全教室を開きました。本格的な自転車通学が始まる前に、事故に遭わないように安全に自転車通学してもらうための教室です。交通安全を認識しました。

本格的な自転車通学を前に、幼児センター、町内全小学校の子供たちを対象に、交通安全指導を行いました。